

委託事業実施内容報告書

平成20年度地域日本語教育支援事業【日本語教室設置運営】

受託団体名 特定非営利活動法人 愛伝舎

1 事業の趣旨・目的

鈴鹿市の市営住宅の一つ岡田団地ではこれまでH17年度から、外国人入居者向けに「生活ガイダンス」を行い、愛伝舎は委託を受けすすめてきた。「生活ガイダンス」を継続してやってきて、地域社会で暮らすルールを伝えて理解してもらうことで、団地で外国人と日本人の交流も生まれている。岡田団地の外国人入居者からは、「日本語を教えて欲しい。」という声が以前からあり、今回団地の集会所で、生活に根付いた日本語の教室を行いたい。岡田団地では自治会が自主的に、外国人入居者との親睦会を始め、地域での積極的な交流を図っている。先進的な取り組みに対し、市行政も岡田団地の事例を他地域に発展できるように、協力したい考えである。そこでこの教室も、岡田団地での活動の中で、日常の会話の学習に繋げながら、進めてきたい。

子供がいる家庭が多く、小学校の保護者として日本の学校で使う日本語や、病院に行った際に使う日本語、団地での自治会活動の中で使う日本語などを学習したい。また、団地に自治会の役員で四日市市の小学校の国際教室で講師をしている日系の方がいて、その方を中心に、外国人のニーズを聞きながら、授業に対応していきたい。

鈴鹿市、津市周辺の市営、県営住宅の外国人入居者へのガイダンス等は、今後も予定されており、岡田団地で行う教室で蓄積された教材は、今後他の団地の外国人入居者がすぐに使える「暮らしの中の日本語」として普及させ、言葉の壁によるトラブルの解消に少しでも役立てたい

2 運営委員会の開催について

【概要】

| 開催日時 | 出席者 | 議題 | 会議の概要 |
|------|-------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月2日 | 坂本久海子 米川綾 大津テルコ 鷹巣雅英 | 教室案内の方法 教室内容 | <ul style="list-style-type: none">・ 募集は牧田小学校、清和小学校から保護者に配布してもらう。団地の入居者には大津さんが配布する。・ 授業は前半はひらがなを学習し、その後生活場面で使う言葉の学習をする。 (自治会、学校、病院で使う言葉。)・ 保育者は2人行 |

| | | | |
|--------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | う。 |
| 10月27日 | 坂本久海子 米川綾 大津テルコ | 教室案内 授業内容の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 申し込みをしたが、参加しない人へ電話で呼びかけをする。 ・ 日常生活に使う言葉の検討。救急車の呼び方、学校で使う言葉、自治会の言葉の学習をする。 |
| 12月19日 | 坂本久海子 米川綾 大津テルコ | 生徒の出席に関して 授業内容の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加しなくなった受講生の様子。帰国、病気などの確認。 ・ 雇用の悪化に伴う生活の様子の確認。 ・ 後半の授業で進めること。 |
| 1月30日 | 坂本久海子 米川綾 大津テルコ 鷹巣雅英 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規受講者の授業内容 ・ 2月の社会見学について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい受講者への授業内容の検討。 ・ 就職につながる授業を考えていく。(履歴書、面接) ・ 2月28日の社会見学の計画 |
| 3月27日 | 坂本久海子 米川綾 大津テルコ 鷹巣雅英 清水登志子 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年の感想、反省 ・ 今後に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会、学校、病院、健康に関する言葉など、身近に使うことばが好評だった。 ・ 言葉以外の情報、話題が聞ける場になり喜ばれた。 ・ 年明けから受講者が増えて、能力別クラス分けが必要に |

| | | | |
|--|--|--|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | <p>なり、今後は少人数の対応を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会に協力が得られた。 |
|--|--|--|-------------------------------------------------------------------------------------------|

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称 鈴鹿市牧田地域・暮らしの中の日本語

② 開催場所 鈴鹿市宮岡田団地集会所

学習目標

生活の中で使う日本語の学習を行う。

- ・ 日本の学校で使う言葉の学習
- ・ 病院で使う言葉の学習
- ・ 近所づきあいの中で使う学習

授業の中で、言葉の学習以外にその事柄の説明をして、日本の習慣を理解してもらう。

また団地には40軒以上の外国人入居者がいるが、外国人同士での交流がなく、参加者がお互いに助け合ったり、交流できる関係を築き、外国人の中での自治を高めていきたい。

③ 使用した教材・リソース

暮らしの中の日本語

みんなの日本語

④ 受講者の募集方法

団地周辺の小学校2校の保護者と、団地の入居者へチラシを配布。

⑤ 受講者の総数 33 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑥ 開催時間数(回数) 38 時間 (全 18 回)

⑦ 日本語教室の具体的内容

| 回 | 開催日時 | 時間数 | 参加人数 | 国籍・母語(人) | 教授者・補助者人数 | 内容 |
|---|--------------------------|-----|------|------------------------------------|-------------------------|----------------------|
| 1 | 8月1日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 10人 | ブラジル国・ポルトガル語(7人) ペルー国・スペイン語(3人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | プレースメントテスト |
| 2 | 8月1日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 10人 | ブラジル国・ポルトガル語(7人) ペルー国・スペイン語(3人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | ひらがな学習 (ひらがなの歌教材) |
| 3 | 8月22日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 6人 | ブラジル国・ポルトガル語(5人) ペルー国・スペイン語(1人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | あいさつ・ひらがな学習・数字 |

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-----|-----|------------------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 4 | 8月22日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 6人 | ブラジル国・ポルトガル語(5人) ペルー国・スペイン語(1人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | ひらがな学習 語彙カード |
| 5 | 9月5日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 10人 | ブラジル国・ポルトガル語(7人) ペルー国・スペイン語(3人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | 自己紹介 ひらがな学習 語彙カード |
| 6 | 9月5日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 10人 | ブラジル国・ポルトガル語(7人) ペルー国・スペイン語(3人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | ひらがな学習 歌詞の書写 |
| 7 | 9月26日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 9人 | ブラジル国・ポルトガル語(7人) ペルー国・スペイン語(2人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | 歌詞書写 語彙カード |
| 8 | 9月26日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 9人 | ブラジル国・ポルトガル語(7人) ペルー国・スペイン語(2人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | ひたがな学習 挨拶のことば |
| 9 | 10月10日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 13人 | ブラジル国・伯語(9人) ペルー国・西語(3人) ネパール国・ネパール語(1人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | ひらがな学習 |
| 10 | 10月10日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 13人 | ブラジル国・伯語(9人) ペルー国・西語(3人) ネパール国・ネパール語(1人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | あいうえおの歌 書写 漢字だいすき1 |
| 11 | 10月31日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 10人 | ブラジル国・伯語(9人) ペルー国・西語(3人) ネパール国・ネパール語(1人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | 歌詞の書写 みんなの日本語 L1 |
| 12 | 10月31日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 10人 | ブラジル国・伯語(8人) ペルー国・西語(1人) ネパール国・ネパール語(1人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | 歌詞の書写 漢字だいすき |
| 13 | 11月7日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 12人 | ブラジル国・伯語(9人) ペルー国・西語(2人) ネパール国・ネパール語(1人) | 補助者2人 保育者2人 | みんなの日本語 L1 |
| 14 | 11月7日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 12人 | ブラジル国・伯語(9人) ペルー国・西語(2人) ネパール国・ネパール語(1人) | 補助者2人 保育者2人 | みんなの日本語 L1 |
| 15 | 11月21日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 9人 | ブラジル国・伯語(8人) ネパール国・ネパール語(1人) | 教授者1人 補助者2人 保育者2人 | 救急車の呼び方 |
| 16 | 11月21日 20:05~ | 1時間 | 9人 | ブラジル国・伯語(8人) ネパール国・ネパール語(1人) | 教授者1人 補助者2人 | みんなの日本語 |

| | | | | | | |
|----|------------------------------|------|------|------------------------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| | 21:05 | | | | 保育者 2 人 | |
| 17 | 12 月 5 日 19:00~ 20:00 | 1 時間 | 5 人 | ブラジル国・伯語 (4 人) ネパール国・ネパール語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 身体という言葉 |
| 18 | 12 月 5 日 20:05~ 21:05 | 1 時間 | 5 人 | ブラジル国・伯語 (4 人) ネパール国・ネパール語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | みんなの日本語 |
| 19 | 12 月 19 日 19:00~ 20:00 | 1 時間 | 5 人 | ブラジル国・伯語 (4 人) ネパール国・ネパール語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 自治会の言葉 |
| 20 | 12 月 19 日 20:05~ 21:05 | 1 時間 | 5 人 | ブラジル国・伯語 (4 人) ネパール国・ネパール語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 自治会の言葉 |
| 21 | 1 月 9 日 19:00~ 20:00 | 1 時間 | 6 人 | ブラジル国・伯語 (4 人) ペルー国・西語 (1 人) ネパール国・ネパール語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 歌詞書写 反対の言葉 |
| 22 | 1 月 9 日 20:05~ 21:05 | 1 時間 | 6 人 | ブラジル国・伯語 (4 人) ペルー国・西語 (1 人) ネパール国・ネパール語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 学校の言葉 |
| 23 | 1 月 23 日 19:00~ 20:00 | 1 時間 | 7 人 | ブラジル国・伯語 (6 人) ペルー国・西語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | みんなの日本語 基本的な動詞 |
| 24 | 1 月 23 日 20:05~ 21:05 | 1 時間 | 7 人 | ブラジル国・伯語 (6 人) ペルー国・西語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 学校の言葉 |
| 25 | 2 月 6 日 19:00~ 20:00 | 1 時間 | 12 人 | ブラジル国・伯語 (8 人) ペルー国・西語 (4 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 病気・体の言葉 ひらがな学習 |
| 26 | 2 月 6 日 20:05~ 21:05 | 1 時間 | 12 人 | ブラジル国・伯語 (8 人) ペルー国・西語 (4 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 病気・体の言葉 ひらがな学習 |
| 27 | 2 月 13 日 19:00~ 20:00 | 1 時間 | 7 人 | ブラジル国・伯語 (6 人) ペルー国・西語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 病気・体の言葉 ひらがな学習 |
| 28 | 2 月 13 日 20:05~ 21:05 | 1 時間 | 7 人 | ブラジル国・伯語 (6 人) ペルー国・西語 (1 人) | 教授者 1 人 補助者 2 人 保育者 2 人 | 暮らしの日本語 学校の言葉 自己紹介 |
| 29 | 2 月 27 日 | 1 時間 | 7 人 | ブラジル国・伯語 (6 人) | 教授者 1 人 | ひらがな学習 |

| | | | | | | |
|----|--------------------------|-----|-----|-----------------------------|-------------------------|--------------------|
| | 19:00~ 20:00 | | | ペルー国・西語（1人） | 補助者1人 保育者2人 | 基本の動詞 |
| 30 | 2月27日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 7人 | ブラジル国・伯語（6人） ペルー国・西語（1人） | 教授者1人 補助者1人 保育者2人 | ひらがな学習 基本の動詞 |
| 31 | 2月28日 10:00~ 11:00 | 1時間 | 5人 | ブラジル国・伯語（1人） ペルー国・西語（4人） | 教授者1人 補助者1人 | 白子・愛宕公民館見学 |
| 32 | 2月28日 11:30 ~12:30 | 1時間 | 5人 | ブラジル国・伯語（1人） ペルー国・西語（4人） | 教授者1人 補助者1人 | レストランで注文をする |
| 33 | 2月28日 13:00 ~14:00 | 1時間 | 5人 | ブラジル国・伯語（1人） ペルー国・西語（4人） | 教授者1人 補助者1人 | 子安観音・お雛様見学 |
| 34 | 2月28日 14:30 ~15:30 | 1時間 | 5人 | ブラジル国・伯語（1人） ペルー国・西語（4人） | 教授者1人 補助者1人 | 伝統工芸会館見学 |
| 35 | 3月6日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 11人 | ブラジル国・伯語（6人） ペルー国・西語（5人） | 教授者1人 補助者1人 保育者2人 | ひらがな学習 履歴書 面接練習 |
| 36 | 3月6日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 11人 | ブラジル国・伯語（6人） ペルー国・西語（5人） | 教授者1人 補助者1人 保育者2人 | ひらがな学習 履歴書 面接練習 |
| 37 | 3月13日 19:00~ 20:00 | 1時間 | 11人 | ブラジル国・伯語（6人） ペルー国・西語（5人） | 教授者1人 補助者1人 保育者1人 | 履歴書 面接練習 |
| 38 | 3月13日 20:05~ 21:05 | 1時間 | 11人 | ブラジル国・伯語（6人） ペルー国・西語（5人） | 教授者1人 補助者1人 保育者1人 | 修了式 |

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

第15回 11月21日(金) 授業内容

第15回 岡田地区日本語教室

2008年11月21日(金) 19:00~

目標: あいさつや礼儀に関する日本語を知り、その意味を理解する。
生活の中で使う日本語を重点的に学習する。

1 初めのあいさつ

- ① 起立 礼 「**よろしくお願ひします**」 着席 (日直を決め順に当番をする)
- ② 出席を取る。(名前を呼ばれたら「**ハイ**」と言って手を挙げてください)
- ③ カレンダー(板書しながら)
今日は、「11 **月21日金曜日**」です。

2 歌

- ♪「ひらがなのうた」
- ♪「いぬのおまわりさん」

3 「119番にかける」(別紙表を壁に貼っておきましょう)

- 119 はい119です。火事ですか。病気ですか。
あなた もしもし 病気です。(火事です。)
- 119 住所はどこですか。
あなた すずかしました…、…です。
- 119 どうしましたか。
あなた こどもがねつがあります。
おなかがいたいです。
あしにけがをしました。
- 119 今から行きますので、お待ちください。

.....
受講生から質問のあった言葉

| | | | |
|----------|-------------------|------|-----------|
| びょうき | doença | けが | frimento |
| ち | sangue | けいれん | convulsão |
| いしきがないです | está inconsciente | | |

| | | | |
|---------|-----|-----|-------|
| けいさつ | 110 | | |
| しょうぼうしょ | 119 | (かじ | びょうき) |

「119番にかける」

(119) はい119です。火事ですか。病気ですか。

(あなた) もしも^{びょうき} 病気です。 (^{かじ} 火事です。)

(119) ^{じゅうしょ} 住所はどこですか。

(あなた) すずかしました…、…です。

(119) どうしましたか。

(あなた) こどもがねつがあります。

()がいたいです。

()をけがをしました。

(119) ^{いま} ^い 今から行きますので、^ま お待ちください。

| |
|-------------------------------------------------------------------|
| ^{ひょう} ^{でんわ} ^は この表を電話のそばに張っておきましょう |
|-------------------------------------------------------------------|

第19回 岡田地区日本語教室

2008年12月19日(金) 19:00~

目標: あいさつや礼儀に関する日本語を知り、その意味を理解する。
生活の中で使う日本語を重点的に学習する。

1 初めのあいさつ

- ① 起立 礼 「**よろしくお願ひします**」 着席 (日直を決め順に当番をする)
- ② 出席を取る。(名前を呼ばれたら「**ハイ**」と言って手を挙げてください)
- ③ カレンダー(板書しながら)
今日は、「12月19日(金)」です。

2 歌

♪「ひらがなのうた」

♪「Tude e Vida 全て命」

3 近所づきあいの言葉

「暮らしの日本語 指差し会話帳」より

別紙プリント(3枚) 添付できないものについては別途郵送します。

だんちでつかうことばをおぼえましょう！

団地で使う言葉を覚えましょう！

ひらがな

漢字 (かんじ)

| | | |
|--------------|-------|-------------------------------|
| じちかい | 自治会 | associação do bairro |
| じちかいちょう | 自治会長 | presidente do bairro |
| じちかいはくいん | 自治会役員 | encarregado da associação do |
| airro | | |
| じちかいひ | 自治会費 | taxa da associação do bairro |
| きょうえきひ | 共益費 | taxa de condominio |
| かいけい | 会計 | tesoureiro |
| しょき | 書記 | secretário |
| かいらんばん | 回覧板 | aviso circular |
| ちいきのぎょうじ | 地域の行事 | atividade do bairro |
| ぼうさいくんれん | 防災訓練 | treinamento preventivo contra |

rrremoto

| | | |
|-----------|--------|------------------------------|
| おまつり | お祭り | festa |
| うんどうかい | 運動会 | atividade esportiva |
| ぴーてーいーえー | PTA | Associação de Pais e Mestres |
| ほごしゃかい | 保護者会 | Reunião de pais |
| なまごみ | 生ごみ | lixo doméstico (de cozinha) |
| もえるごみ | 燃えるごみ | lixo queimável |
| もえないごみ | 燃えないごみ | lixo não queimável |
| しげんごみ | 資源ごみ | lixo reciclável |
| そだいごみ | 粗大ごみ | lixo de grande porte |
| ゆうがいごみ | 有害ごみ | lixo nocivo |
| しよりけん | 処理券 | selo de coleta do lixo |
| ごみしゅうせきじょ | ごみ集積所 | local de desosito lixo |
| しんぶん | 新聞 | jornal |

写真 1

教室授業風景 : 初心者が手前、中級者が奥のテーブル

写真 2

預かり保育風景 : こどもを持つおかあさんたちが安心して授業をうけられました

⑩ 支援者の名簿

| 氏名 | 所属 | 専門分野及び日本語教育に関する資格 | 参加回数 | 当該教室での役割 |
|--------|----------------------|---------------------------|-------|----------|
| 坂本久海子 | NPO法人 愛伝舎 理事長 | 小学校教員 2 種免許 国際教室担当 8 年 | ※別紙参照 | 教授者 |
| 米川綾 | NPO法人 愛伝舎 副理事長 | 小中学校指導助手 8 年 | 〃 | 通訳 |
| 鷹巣雅英 | NPO 法人 愛伝舎 ボランティア | 幼小中等高等学校教員 1 種免許 | 〃 | アドバイザー |
| 大津テルコ | 岡田団地自治会役 員 | 小学校指導助手 | 〃 | 補助員 |
| 清水 登志子 | 小学校講師 | 小中学校教員 1 種免 許 | 〃 | 保育担当 |
| 坂本 郁美 | 学生 | なし | 〃 | 保育担当 |

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

8月から3月まで継続して参加できた受講生は、毎回授業を楽しみに参加してくれた。ひらがな学習後、目標にしていた日本の学校、自治会、病院で使う言葉を学習できた。外国人が日常生活の中で知らないことが意外に多く、身を守るための「サバイバル日本語」を学ぶ機会が無いまま、日本で暮らしているということがわかった。救急車の呼び方、自治会で使う言葉、日本の学校の言葉、身体や健康に関する言葉、履歴書など保存して使えるものを提供することができ、受講者に喜んでもらった。

② 学習者の習得状況

学習者により個人差があるが、ひらがな、カタカナの読み書きができていない人でも日本

の社会のことを知らず、日本に住みながら隔絶された環境にいることがよく分かった。最初から最後まで受講した人は、日本語を継続的に勉強する場を求めている人たちであったように思う。小さな子供を抱えながら勉強する環境が出来たことを喜び、熱心に学習し、今後日本語検定試験に向けて、具体的な目標を掲げる人もいた。日本語を必要としない職場から、必要とする環境で働くようになり、日常的に日本語に触れる機会も増えていた。

後半から参加した人は、これまで日本語を学ぶ必要性も無く、関心も無かったが経済変化で必要性を感じてくる人が多かった。1月過ぎてからの短期だったので、まずはひらがなが読み書きできて、挨拶、自己紹介ができ、仕事の面接で使う言葉までを最低学習してもらった。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

去年の夏に教室開催の呼びかけをしたときには、20人以上の参加希望者があったが、実際来たのは、10数人で、継続して続いたのは、7人ほどであった。去年の秋までは景気がよく残業や夜勤を続ける人も多く、なかなか勉強を続けるのは難しい状況のようだった。この事業でまず、良かった点は子どもを預かることができたため、子育て中のお母さんの参加が多かったことである。日本語を勉強したくても、子どもを置いて出かけられないというお母さんたちが勉強する環境を用意でき、大変喜ばれた。

生活に溶け込んだ日本語を学習することで、学校や、病院、就職に役に立つ日本語を学習できた。日本に何年も住んでも、日本のことを知らないでいる実態がよくわかり、日本語教室の場は、日本の習慣、文化を伝える大切な場でもあるということが再認識できた。

日本に住む外国人同士もお互いに知らず、地域社会での人間関係が薄い。教室で外国人同士も知り合うということもでき、情報の共有のできる間柄もできていった。

今年に入ってから、雇用が厳しくなり、日本語学習熱が高まった。授業を通して、介護の現場の人手不足を紹介し、自分で老人施設に面接に行き、職を得た人が出るなど、日本語学習が就職につながるケースも見られた。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

拠点にした鈴鹿市営岡田団地は、2005年より団地での生活ガイダンスを行ってきて、自治会や、市役所の住宅課とも連携を行ってきた。この教室の運営に当たり、集会所にエアコンをつけていただき、自治会も授業のある日と、自治会の会議の調整を行ってくれるなど協力をしていただいた。外国人住民が日本語を学ぼうとすることに、地域の人たちも協力的であった。この地域は、外国人住民も多く他にも、別の教室の運営が予定されている。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

- a. 現状 10年以上日本に住んで、初めて日本語学習をする気になった人が多い。必要性を感じず、興味もなかったということもある。また残業、夜勤で学習する時間が取れない、いける時間にあった教室がないなど様々な条件があったように思う。どこで日本語教室があるのか、どんな教材があるのか、的確な情報を得ていない人が多い。日本語に住んでいながら、日本語を学習する環境にないというのが、定住外国

人のおかれている状況と思う。また語学の学習に、教本や、辞書を用意するという感覚が、薄いようにも思う。自分から本屋に行って教材を探すという経験もなく、日本の社会での経験もない。また日常的に日本の社会との接触が少なく、日本人と話す機会も無い人が多い。そのよう中で、今回の経済危機になり、日本の社会で生き残るには日本語が必要と、初めて実感したというのが、現状に思う。

b. 今後の課題

この年度末に失業する人が、更に増えると予想される。製造業で働いていた人たちは、日本語ができなくても働くことができたが、再就職の条件は、日本語ができることが必要とされ、日本語学習熱が高まっている。日本語学習の必要性を感じず、関心がなかった人たちが、今になって勉強を始めようとしているが、年齢の高い人が多く、また母国で教育を受けていなかったであろう人もいて、学習を授業形式で行うには、それぞれの進度に合わせての対応は難しい。

c. 今後の活動予定, 展望

三重県では失業者の7割が、失業保険の給付を受けているが、帰国予定もなく日本に定住を希望する人で、再就職ができない人は生活保護の申請をしていくと予想される。去年、愛伝舎では「外国人のための就職マッチングフェア」を行い、鈴鹿市、四日市では介護の職を得た日系人も増えている。今後、就労に繋がるような日本語学習を行っていきたいと考えている。言葉だけでなく、職場での挨拶、マナー、習慣も含めたガイダンス的な内容も入れたものを進めたいと考える。

これまで、どうしたら日系人が日本語を学ぶ意欲が出るのだろうか、気をもんできたが、今回の経済状況で、日本語の必要性が高まったことは、地域の共生を進めていく上では良い点であると思う。